

日川協通信 (129)

令和4年8月20日



一般社団法人全日本川柳協会
〒530・041 大阪市北区天神橋 丁目

北一一一九〇五

電話 (06) 635212210

FAX (06) 6352124330

振替口座 00970193575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

早い梅雨が明けて、日本列島は猛暑、酷暑が続いています。熱中症対策をして予防につとめて下さい。7・8月は台風も心配です。甚大な被害のないことを願っています。

6月12日に開催予定だった第45回全日本川柳富山大会は、コロナ感染拡大を考慮して中止急遽誌上大会に移行させていただきました。締切りの7月15日には全国各地から多くの応募をいただいているとの報告を受けています。ありがとうございました。5年前から富山県川柳協会の皆さまが開催に向けて一丸となって取り組んで来られた富山大会、坂下清実行委員長にこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

なお、2024年は広島県で、来年も引き続き誌上大会として開催致しますので、よろしくお願い致します。

第37回国民文化祭おきなわ2022は、10月30日の開催に向けて準備を進めておられます。

今年の春頃から、新型コロナウイルスの感染者が落ち着いてきて嬉しく思っていました。ここに来て、新型コロナウイルスのオミクロン変異株の感染者が爆発的に増えてきています。感染力が非常に強いということで心配ですが、一日も早く収束して、皆さまにお会い出来ることを願っています。一般社団法人全日本川柳協会は、今、加盟団体の拡大に力を入れていきます。個人会員も大歓迎です。良い情報がありましたら事務局までご連絡ください。よろしくお願い致します。これから更に暑さが厳しくなります。感染症対策、熱中症対策をしつかりして、元氣にお過ごしください。

第二十四回 全日本川柳誌上大会

(令和柳多留) 入 選 作 品

(参加者 1,398 名)

令和柳多留賞

ゆつくりでいい遅咲きの子と歩く

広島 川上 咲良

川柳大賞

蔓が巻く鉄条網を抱きしめて

大阪 森井 克子

NHK会長賞

お笑いの合間に戦車行くニュース

宮城 岩渕 徳男

日本青少年育成協会会長賞

ろうそくのもの問いたげな黄色い灯

福井 金真雄 二郎

全日本川柳協会賞

退屈なデータが縁側で翹う

静岡 熊柴 豪

全日本川柳誌上大会賞

今日生きる一日分のねじを巻く

福島 安藤 敏彦

断層が語る地球の大叙事詩

茨城 佐瀬 貴子

ヘルパーの来ぬ日ミモザも枯れかかる

埼玉 北島 滯

巻き上げた租税が木簡に残る

兵庫 赤井 花城

記録的ばかり地球が壊れそう

栃木 荒牧やむ茶

第一次選者

「黄」

北山 まみどり

大嶋 都嗣子

「データ」

三上 博史

片岡 加代

「巻く」

柴垣 一

樋口 祐子

「くつきり」

佐道 正

高木 勇三

「期待」

佐藤 清泉

横尾 信雄

第二次選者 (50音順)

黒川 孤遊

佐藤 美文

西藤 恵美子

松代 天鬼

矢沢 和女

令和4年度(6月23日)

東西合同常任幹事会 通 常 総 会

場所 II プレミアホテルキャビン大阪

定足数の確認のあと議事録署名者選出

議 案

議案第1号 令和3年度事業報告承認の件

議案第2号 令和3年度

収支決算報告承認の件

報告第1号 令和3年度監査報告の件

議案第3号 2023年の課題と選者の件

議案第4号 ホームページリニューアルの件

報告第2号 表彰の件

報告第3号 『川柳マガジン』『柳詩園』

の記述について

協議事項

日川協組織強化のための課題と方策

その他

第1号議案から第4号議案、その他まで慎重審議の結果、議長の報告通り可決成立。最後に議長から謝辞を述べ午後4時30分に閉会した。

大会連続出席者

連続20回参加

中澤 巖・中沢 広子

連続30回参加

米島 暁子

マスコミ柳壇の指導を10年以上行った者

高橋三鳩枝・渡辺 松風

第17回80歳以上の功労者顕彰

竹田 光柳・津田 暹・本田 智彦

大楠 紀子・大場 孔晶

第15回川柳文学賞

正賞「分母は海」

準賞「ひと文字綴り」

西 恵美子
萩原奈津子

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もっとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。

2022年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を2023年1月末日までに当協会の「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。沢山の応募お待ちしております。

第16回 川柳文学賞募集

今後の全国大会予定

2023年は誌上天会として開催

▼ 広島

今後の国民文化祭予定

▼ 沖繩

2022年10月30日(日)
豊見城市立中央公民館

▼ 石川

2023年10月22日(日)
七尾市文化ホール

▼ 岐阜

2024年秋

▼ 長崎

2025年秋

2022年1月以後(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

逝去日 役職 お名前 年齢

4/2 元幹事 飛田 陽子 81

7/27 元常任幹事 三浦 宏 85

8/9 常任幹事 村上 氷筆 79

正味財産増減計算書

平成3年4月1日から平成4年3月31日まで


(単位:円)


	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,384	1,183	201	
受取入金	21,000	21,000	0	
柳社入会金	9,000	15,000	△ 6,000	
個人入会金	12,000	6,000	6,000	
受取会費	5,639,000	5,031,000	608,000	
理事会費	528,000	408,000	120,000	
常任幹事会費	3,120,000	2,880,000	240,000	
正会員会費(団体)	1,897,000	1,645,000	252,000	
正会員会費(個人)	94,000	98,000	△ 4,000	
普及向上事業収益	9,733,353	10,565,790	△ 832,437	
誌上大会	2,796,000	2,693,000	103,000	
電子出版	0	148,500	△ 148,500	
全国大会(事前)	0	1,630,000	△ 1,630,000	
全国大会(当日)	0	3,758,000	△ 3,758,000	
国民文化祭	4,143,300			
表彰後援事業	67,723	50,510	17,213	
選考協力事業	2,726,330	2,285,780	440,550	
受取補助金等	3,912,420	1,125,280	2,787,140	
受取寄付金	0	200,000	△ 200,000	
雑収益	478,000	0	478,000	
経常収益計	19,785,157	16,944,253	2,840,904	
(2) 経常費用				
事業費	16,112,081	14,550,618	1,561,463	
給料手当	2,851,026	2,799,726	51,300	
臨時雇賃金	964,800	527,280	437,520	
退職給付費用	142,500	142,500	0	
旅費交通費	1,008,140	656,840	351,300	
通信運搬費	2,218,862	2,031,006	187,856	
支払手数料	8,715	6,532	2,183	
消耗品費	270,065	88,121	181,944	
印刷製本費	2,744,885	2,376,379	368,506	
光熱水料費	138,180	109,524	28,656	
賃借料	1,191,300	1,207,100	△ 15,800	
保険料	0	0	0	
諸謝金	2,790,784	1,896,306	894,478	
表彰後援費	373,369	520,304	△ 146,935	
広告宣伝費	20,000	0	20,000	
実行委員会運営費	1,389,455	2,189,000	△ 799,545	
雑費	0	0	0	
管理費	1,569,197	1,171,432	397,765	
給料手当	150,054	147,354	2,700	
退職給与費用	7,500	7,500	0	
福利厚生費	17,850	4,944	12,906	
会議費	180,462	24,850	155,612	
旅費交通費	122,700	28,120	94,580	
通信運搬費	116,782	106,895	9,887	
支払手数料	8,415	5,500	2,915	
消耗品費	14,214	4,638	9,576	
印刷製本費	59,590	0	59,590	
光熱水料費	7,273	5,764	1,509	
賃借料	62,700	63,532	△ 832	
保険料	8,100	8,250	△ 150	
法定福利費	470,739	467,432	3,307	
租税公課	70,000	70,000	0	
接待交際費	14,237	5,150	9,087	
雑費	258,581	221,503	37,078	
経常費用計	17,681,278	15,722,050	1,959,228	
当期経常増減額	2,103,879	1,222,203	881,676	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
(該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期正味財産増減額	2,103,879	1,222,203	881,676	
一般正味財産期首残高	5,332,421	4,110,218	1,222,203	
一般正味財産期末残高	7,436,300	5,332,421	2,103,879	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
III 正味財産期末残高	28,436,300	26,332,421	2,103,879	

監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会
理 事 長 小 島 和 幸 殿

令和 4 年 4 月 21 日
一般社団法人 全日本川柳協会

監 事 矢澤 和女 

監 事 高須 霞子 
一十季

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第15回川柳文学賞受賞作品

正賞 『分母は海』 西 恵美子

準賞 『ひと文字綴り』 萩原 奈津子

■総評 選考委員 梅崎 流青

今年の川柳文学賞の申請は令和3年に発行された句集のうち、申請のあった13冊を選考委員（筆石隆子・佐藤美文・新家完司・梅崎流青・荒川佳洋）の5名が選考しました。

5月10日15時より上野精養軒において最終選考会を開催し、選考委員5名が一堂に会し、意見交換ののち決定いたしました。

残念ながら、今年も前回と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止に考慮し、授賞式は行わなかった。

■正賞 「分母は海」

評（一位推薦） 筆石 隆子

13冊の句集をつらつらと読む。コロナ禍も3年目になるが、川柳界はリアル句会や大会運営が難しい状態で低迷を余儀なくされている。句集発行も例年を下回っているように思う。その中で「分母は海」は秀逸である。連作10句を掲げ第1章、第2章と水っぽい作品たちである。どの部分を取り上げても作者像が浮き上がる。

第1章「霧を置く」の二物衝撃法などテクニクを駆使したり、痛みさえ美しくしてしまふ。これでもか、と言うほどのアクセシビリティに高まる感性は深奥の豊かさだろ。

第2章「星になった君（へ）」の50句ほどは、キッチンに立つ母の顔を覗かせる。

メモ紙に走り書きした愛息への思いを、これでもかとはかり述べている。横書きのタイトル、表紙のデザインも作者の思いを窺わせる。

評（一位推薦） 佐藤 美文

すでに第10回東北川柳文学大賞を受賞している作品集であるけれど、見逃し出来ない作品集である。どの作品も頷ける作品ばかりである。1句掲げるとすれば

「切り捨てた数が仄かな香りする」を掲げた。

■準賞 「ひと文字綴り」

評（二位推薦） 新家 完司

萩原奈津子（福岡）

現代川柳の大きなテーマの一つである「今の自分の姿、今の自分の想いを詠う」ことの魅力に溢れた作品群であった。特に三月の水の匂い「ふと気付く」や、「何も無いひと日空っぽの屑籠」「疑わず今日も卵のある暮らし」など、難しい比喩を使わずに想いを述べて、作者の日常が明確に浮かび上がってくるのは並々ならぬ力量である。

評（二位推薦） 梅崎 流青

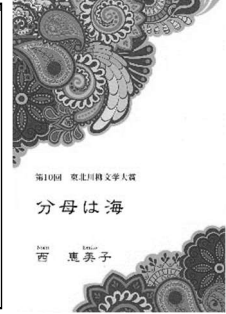
初めに言葉ありきという川柳人は多い。一方でこれまで歩いて来た道を振り返り、落としてきた言葉を丹念に拾い集めて自身の言葉で表す川柳人も珍しくはない。句集「ひと文字綴り」は後者の部類に入るだろう。（ささくられた指は寒さの底を知る）「品格を残せと鯛の骨が言う」（両の手で持たねば遠くなる手紙）（君といて何故かひしひしし孤独）などにふと見迷った「これまでもよくよく目を洗ってみれば一つの人生哲学ともいえるものが。（闘いを終えて軀に戻る牛）牛は紛れもなく自分自身。（コスモスの向こうに誰か居て欲しい）どんな強がりも言っても独りの刑は厳しい。（月だったか太陽だったのかおんな）平塚らいてうのことばを持ち出すまでもない。作品の一つひとつが自身の手や足として作者と一体化、説得力を持たせる句集だといえよう。

西 恵美子 氏



■
主な掲載作品『分母は海』

走り梅雨ひとりつきりの小舟曳く
何人を忘れただろ う稲荷ずし
カランと氷 追憶はいつも雨
遠雷や水蜜桃は食べ頃に
泣いてない少し散っているだけです
豆を煮る夕映えいちまいを入れて
会者定離フトンはいつも柔らかい
金平糖になり損なつた薄明り
引き潮が劇場になる一ページ
流灯や赤い鬼灯青いほおずき
一通の文が鎖骨を出ていかぬ
気まぐれな湾です手の平で群れる

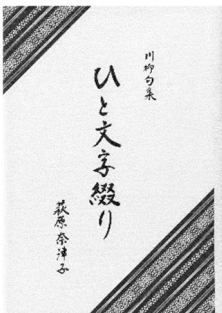


令和3年11月30日発行
四六判ソフトカバー・164頁
日童森文芸出版

■
主な掲載作品『ひと文字綴り』

卵溶く朝の光を混ぜながら
戦争を知らぬ私のさとうきび
ここがよか島に残した母ひとり
子らの手に銃が染まっていく世界
慈愛なる弥勒菩薩の肩の線
珊瑚礁海の痛みのあるところ
三月の水の匂いにふと気付く
反戦歌青いあの日の蝸牛
闘いを終えて軛に戻る牛
母だから歌い続ける反戦歌
母はなぜ嘘を許してくれたのか
リラの白母はその後を語れない

萩原奈津子 氏



平成3年12月1日発行
A5判ハードカバー・148頁
川柳桶の会

日川協総会に思う

常任幹事 徳丸 浩二(熊本)

6月23日、令和4年度通常総会に出席した。まず、役員の出席が9人(全20人中)と少ないのに驚いた。真剣に協会の運営に関わる姿勢を常任幹事他に示して頂きたい。

ここでは、3点に絞って意見を述べる。①協議事項の「日川協組織強化のための課題と方策」、②審議事項の「ホームページのリニューアル」、③その他である。

①について…組織強化のために常任幹事を増やす取組みをしているが、複数の理事によるチームを作り具体的な戦略を策定し、実行するようにしてはどうだろうか。近い将来常任幹事を含めた業務分担を決定していく方針が示されているので、その先陣を切る意味もある。また、喫緊の課題である「事務局体制」の強化については、事務局に地理的に近い大阪周辺の常任幹事から単純仕事を数人で応援に来る用意があること、また静岡の常任幹事から応援組織を作りラインでの連絡体制を編成してどうか等、積極的な意見が多く出され、頼もしく感じた。しかし、実務者が1人では、もしもその1人が事故にあった場合や、業務が集中する時期は、支障

が出ることになりかねない。財務上許されるなら2人体制をとるべきと思う。

②について…ネット社会の今では、ホームページは川柳の普及啓発活動に不可欠なものである。総会出席者の4割ほどがパソコンを使用していることが判り、意外であったし、そんな社会になってきているのだと実感した。

スマホ対応、トピックス欄のアップデート、フェイスブックなどSNSの積極活用、初心者向けのネット句会の定期的運用などを企画されているが、4年度中のリニューアル完成を待ち望む。特に、初心者向けのネット句会の定期的運営は、若年層の掘り起こし効果が期待されると思う。

アップデート作業・データ更新を複数の理事チームに担当してもらうのも良案である。

③その他であるが、「文芸川柳」という言葉を広めたいと思う。一般の人の多くは、川柳と言えばサラリーマン川柳だと思っている。サラリーマン川柳の選挙結果が全国紙で発表されるが、全日本川柳大会・国民文化祭川柳の祭典の表彰が全国紙に掲載されるのを見たことがない。地元紙に限らず、全国紙に掲載されれば、「文芸川柳」も知られるようになると思う。その戦略を練り、実行することも業務の1つとして分担するよう提案する。

総じて、理事・常任幹事による課題解決・業務分担チームの早期構成の必要性を感じた。

列島の真ん中能登半島・文華の粋を詠う in 七尾市 川柳の祭典

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭

いしかわ 百万石 文化祭 2023

川柳作品募集要項（概要）

日 時／ 令和5年 **10**月**22**日（日）9時30分開場

場 所／ 七尾市文化ホール 大ホール

〒926-0021 石川県七尾市本府中町ヲ部38番地

電話：0767-53-1160

交通機関／ JR七尾駅よりタクシー4分

JR七尾駅よりバス4分（サンライフプラザ下車／徒歩1分） JR七尾駅より徒歩約20分

事前投句

（二句詠・当日消印有効）

令和5年5月1日（月）～7月31日（月）

「祭り」… 梅崎 流青（福岡）

「スイーツ」… 佐藤 清泉（静岡）

「兼ねる」… 大島 風子（岐阜）

「先端」… 岡本 聡（石川）

第二次選者

雫石 隆子（宮城）

島田 駱舟（千葉）

大楠 紀子（奈良）

新家 完司（鳥取）

黒川 孤遊（熊本）

当日投句

（11時00分締切）

「地味」… 濱山 哲也（青森）

「プラス」… 大竹 洋（千葉）

「七」… 片岡 加代（大阪）

問い合わせ先・投句先

〒530-0041

大阪府北区天神橋2丁目北

1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会

TEL (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

応募料 事前投句1,000円、当日投句1,000円

（ただし、海外投稿者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の写しを添付された方は無料）

※ 募集要項および参加用紙は令和5年4月末頃配布予定です。

全日本川柳誌上大会のご案内

(令和柳多留第4集通巻25号)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(令和柳多留第4集通巻25号)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会
理事長 小島 蘭 幸

課題と共選者(各題2句・連記)

「内」	瀧尻 善英(青 森)	—	覧のぶなが(沖 縄)共選
「マスク」	鈴木さくら(秋 田)	—	荒川八洲雄(愛 知)共選
「飛ぶ」	菅沼 匠(新 潟)	—	西村 寛子(愛 媛)共選
「青い」	平 川柳(東 京)	—	西 美和子(大 阪)共選
「待望」	渋川 溪舟(東 京)	—	間瀬田紋章(宮 崎)共選

第2次選者

天根 夢草(大 阪)、赤井 花城(兵 庫)、坂下 清(富 山)
いしがみ鉄(東 京)、仁多見千絵(宮 城)

参 加 費 2,000円(投句料・『令和柳多留第4集通巻25号』代金含む)

賞 令和柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞
全日本川柳誌上大会賞(予定)

締 切 令和5年1月31日(火)〈当日消印有効〉

参 加 方 法 参加用紙に記入し、参加費2,000円(振替又は小為替)とともに、
下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905
一般社団法人 全日本川柳協会
電 話 (06) 6352-2210
FAX (06) 6352-2433
振替口座 00970-9-3575

令和4年度 80歳以上の功労者 略歴

(敬称略)

千葉県 津田 暹すずむ



昭和12年6月3日生
昭和60年 作句開始
川柳研究社 顧問、千葉県川柳作家連盟会長兼「犬吠」編集者、川柳人協会 理事

講師 NHK学園川柳講座、毎日文化ゼンター通信添削講座、つかだ川柳会、川柳蘇鉄クラブ、ハート川柳会、姉崎川柳会、やまびこ川柳、ユーモア大楽川柳入門教室、KG川柳サロン
平成21年6月 文部科学大臣賞受賞

東京都 竹田 光柳こうりゅう



昭和13年11月26日生
昭和55年 毎日新聞に初投句。昭和63年1月 川柳きやり吟社 社人、

昭和63年5月 川柳人協会 会員

平成2年11月 川柳文化祭 第2部 優勝、平成6年11月 川柳文化祭 第1部 優勝、平成30年 川柳文化賞 受賞
講座「NHK国立教室」「国分寺教室」著書「からしだね」「二粒の麦」「川柳を学ぶ人たちへ」他多数

奈良県 大楠 紀子のりこ



昭和15年9月1日生
番傘川柳本社 同人・編集、奈良番傘川柳会 会長、奈良県川柳連盟 理事、全日本川柳協会 常任幹事

講座「川柳の集い」「奈良市友会」

大阪府 本田 智彦ともひこ

昭和2年3月1日生、昭和54年 新聞投句開始、平成10年 番傘くらわんか川柳



会 世話人、平成11年 番傘川柳本社 同人、平成12年8月 よどがわ川柳 会長 就任

平成30年 磯野いさむ賞 受賞
現在、番傘川柳本社 幹事長、全日本川柳協会 相談役、よどがわ川柳 会長、大阪川柳の会 会長 著書「てげてげ」「てげてげ2」「本田智彦 川柳作家全集」

山口県 大場 孔晶くしやう



昭和9年9月23日生
萩川柳会 顧問、井上 剣花坊顕彰会 会長、萩つばき川柳会 創設・会長、萩ねこ川柳会 創設・会長、全日本川柳協会 常任幹事、萩明寿会川柳会 創設・会長、全

山口県文化功労賞 受賞
山口県文化功労賞 受賞

著書「川柳作家コレクション 大場孔晶」毎日新聞地方版「防長川柳」 選者

頁	柳社名	箇所	追加・訂正・変更内容
14	札幌川柳社	代表	岡崎 守 〒002-8023 札幌市北区篠路3条4-5-15-306
19	千葉北川柳会	代表	林 はな 〒276-0031 八千代市八千代台北11-16-1 TEL 047-482-2105
20	川柳きやり吟社	代表	安藤 波瑠 〒192-0911 東京都八王子市打越町1523-51 TEL&FAX 042-636-0288
23	富山県川柳協会	事務所	岡野 満 〒933-0806 高岡市赤祖父634 TEL 0766-28-8220 FAX 0766-28-8221
27	生駒番傘川柳会	事務所	稲葉 良岩 〒630-0255 生駒市山崎新町7-21 TEL 080-5327-1078
28	うめだ番傘川柳会	代表	中岡千代美 〒661-0014 尼崎市上ノ島町2-2-26-206 TEL 06-6426-1991
33	番傘くすのき川柳会	代表	若山 宗彦 〒733-0821 広島市西区庚午北2-6-8 TEL 082-942-0730
35	川柳クラブ大蛇山	新入会	山下 華子 〒836-0021 大牟田市浜町1-8-401 TEL 090-1517-6777
36	長崎番傘川柳会	代表	三瀬清一郎 〒850-0824 長崎市三景台町30-22 TEL&FAX 095-825-6882
40	黒田るみ子	新入会	〒779-0114 徳島県板野郡板野町羅漢山崎3-1 TEL&FAX 088-672-0761
41	城川昌一	新入会	〒580-0012 大阪府松原市立部5-7-25 TEL 090-7482-7883

編集後記

★ともかく暑い！暑い暑い夏でした。この『日川協通信』が皆さんのお手元に届くころには、ニッポンの秋らしい、すばらしい気候になつていくことでしょう。そう祈つております。

★いま日川協最大の課題は組織の拡大・強化です。加盟吟社や常任幹事を増やしましょう！ まずはそのための行動を起こしていきましよう！ 「勧誘の声かけ」が大事です。小島蘭幸理事長も本通信の巻頭で書いておられます。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

★組織を強くすると何がよいですか？ まずは、元気が出ます。元気の出る実践にたくさん出会えるのです。皆さん、頑張つておられますから。

★『令和柳多留』の最新号（第3集、4月1日発行）には、そんな実践レポートを二編掲載しました。「挑戦、リモート川柳大会」と「ガンバレ、瀬戸南高校！」の二つです。掘り起こせば、全国的にはもつともつとあるはず。ラジオ川柳やジュニア川柳の取り組み等々。そうした実践を事務局までドシドシお知らせ下さい。

★私事で恐縮ですが、拙著の最新刊『魔法の文芸―川柳を学ぶ』（飯塚書店）にも、コロナ下の高校生が川柳に初挑戦した話、アイドルグループが川柳を学んだ例、外国人留学生にリモートで川柳を講義した実践などなど、元氣の出る話がてんこ盛りです。つねに、「行動する川柳」でありたいものですネ。

★徳丸浩二常任幹事が総会参加記を寄稿してくれました。有り難うございます。「皆さんの日川協」です。皆さんで支えて下さい。日川協は皆さんの声を大切にしていきます。

う。では、10月30日（日）国文祭おきなわにてお目にかかりましよう。

（事務局長 江畑哲男）